

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-3 高齢者福祉の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

高齢者福祉課長 杉原 雅行

電話番号

0852-22-5236

事務事業の名称		高齢者介護予防推進事業
目的	(1) 対象	高齢者
	(2) 意図	できる限り住み慣れた地域で元気で生活できる状態にする。
事業概要	1. 地域でガッチリ安心サポート事業 市町村が行う地域支援事業（介護予防事業、高齢者の総合相談・総合支援等）について法令に基づき交付金を交付する。 2. 地域包括支援センター運営支援事業 地域支援事業・新予防給付の機能向上を図るため、地域包括支援センターに対して、運営支援を行う。 3. 介護予防事業の評価・市町村支援事業 市町村における介護予防事業が効果的に実施できるよう、検討会等を開催し、介護予防事業の実施状況について評価・分析を行う。	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		(介護予防事業実施保険者数) / (全保険者数)	実績値	100.00	100.00	100.00	100.00		%
			達成率		100.00	100.00	100.00		%
成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	285,539	332,071
うち一般財源 (千円)	275,913	330,575

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

1. 介護予防に関する研修会の開催 市町村・地域包括支援センター向け：4回、リハビリ人材育成研修：1回 2. 地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業を実施している市町村数なし
--

6. 成果があったこと（改善されたこと）

全市町村（保険者）において、介護予防事業が実施されている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」 ・介護保険制度の改正により、介護予防事業が見直され、平成29年度までに全ての市町村において「介護予防・日常生活支援総合事業」に取り組むこととされた。 ・平成29年度からの「介護予防・日常生活支援総合事業」への円滑な移行
②困っている状況が発生している「原因」 ・地域資源が把握されていない。 ・サービスの担い手不足
③原因を解消するための「課題」 ・地域資源（人材、自主組織等）の把握 ・人材等の育成・養成

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・各市町村において、効果的な介護予防の取組みが実施されるよう、地域における介護予防や生活支援の取組みのコーディネート役となる人材の養成研修や、市町村及び地域包括支援センター担当者向けに県内外の先進事例の情報提供等を行っていく。 ・介護予防の取組みにおいて重要な役割を担うリハビリ専門職については、市町村での確保が困難である場合もあるため、広域的な派遣の仕組みを検討する。
--

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--